

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和4年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
1	R4. 11. 5牧区	人口減少の中、期待しているのは、地域独自予算である。牧区の宝は何か考えて、それを活用して、特産物の開発などに繋げたい。在宅ワークが増えたことにより、千葉県では薪ストーブが流行っているというテレビを見た。先日、市長にスギで薪を作って、伐採跡地にイタヤカエデを植えることを提案した。そうすれば、将来メープルシロップが作れて、その甘いおいしさに惹かれる女性たちが移住してくれると思う。スギは切ってしまったら終わりだが、イタヤカエデは継続的な収入に繋がるし、2億円産業も夢ではない。小学生とイタヤカエデの植樹を行ったが、牧区には山ほどスギがあるので、それで薪を作り、イタヤカエデを植える取組を続けていきたい。牧区からそういった地域独自予算の要求があった場合は、牧区の宝を作るんだという気持ちで市議会に賛成してもらいたい。そこで問題になるのは、牧区総合事務所から担当課に提案しても、市議会から質問攻めにされるので、担当課で夢物語だとそれを却下してしまうこと。市議会には、牧区を応援する気持ちでお願いしたい。	地域ビジョンをもつことは市にとっても非常に大事な考え方である。お話いただいた取組は、経済の循環や若者の定着の一助になる取組だと思う。この素晴らしい考え方でしっかりと計画を作り、牧区総合事務所に提案していただきたい。市議会としても精一杯後押ししていくと思う。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する  <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）  <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
2	R4. 11. 5牧区	地域独自予算について、地域協議会で審査する地域活動支援事業であれば、地元のことを知っている人が牧区の実情を踏まえて審査できていたが、地域独自予算になると、地域のためにやろうとしている事業を、地元のことをあまり知らない人が審査することになることが不安である。牧区在住の議員がいないということも大きいですが、現状を理解した上で審査してもらいたい。上越市は広いので、全部に足を運ぶのは大変だが、地域としても実情を知ってもらうためにSNSを活用して努力しているので、そういうもので情報を収集しながら、地域がやりたいと思っていることを審査してほしい。	審査の基準がバラバラだったのを解消するために制度が変わる。また、皆さんにアンケートを取ったときに、自主的審議事項について話す時間が少ないという意見があったことから事業が変わった。現在、地域独自予算について、どんな内容が上がってきているのか議会はわからない。話を伺うと、申請団体に内容の確認などを行っている段階とのことだった。今後、地域自治という形で所管事務調査が行われるので、選考理由などの話があると思う。地域活性化に向かって行われる事業は、ハード面は難しいが、私たちも応援していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する  <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）  <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和4年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等 （概要）
3	R4.11.8有田区	地域独自の予算の説明会の資料について、他地域の事例ばかりである。総務常任委員会では説明の中身や進捗状況などをどのくらい把握しているのか。	地域独自の予算では各団体が直接申請を出せるというのが、地域活動支援事業との大きな違いである。 制度の変更は、地域協議会のアンケートにおいて、地域活動支援事業の採択に時間をとられ本来やるべき地域の活性化や課題解決のための自主的審議をする時間が少ないという意見や、自治区によって採択の基準が違うという意見が多く出たことによるものである。 説明資料において事例として挙げられている地域資源を活用した収入源、雇用の創出につながる取組については、地域の力を育ててほしいという市長の考えによるものである。もう一つの、地域での暮らしやすさにつながる助け合い等の取組というのが、今までの地域活動支援事業に当たる。 現段階では、10月31日で申請受付が終了し、事業内容について担当部局から各団体へ照会が出ている段階と聞いている。今後、所管事務調査などで進捗状況を確認していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
4	R4.11.8有田区	地域の団体が出したからそれが地域独自の予算になるのというのが理解できない。地域の人たちがどれくらいの思いを持って予算化しているのか。総務常任委員会でも問題にならないのか。	地域自治区ごとに説明方法も多少違っていて、申請にあたって地域協議会の関わり方なども異なっているようだ。現段階では我々も詳細は把握していない。 地域の活性化、課題解決に基づく取組でないかと採択は難しいと考える。 13区と旧市の15区とでは、捉え方が全く違うと思う。13区は地域の目標を明確に持っているが、旧市の15区においては限られた期間で方向性をまとめることは難しい。旧市のあり方について、総務常任委員会でも議論していく。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管：総務常任委員会） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
5	R4.11.10大島区	地域独自の予算の制度設計について、市の動きが見えてこない。状況を教えてほしい。	1月に地域協議会会長へ市長から説明。地域協議会や地域の団体から意見書ももらっている。地域予算の要望は各総合事務所ではしめきっている。今、どの事業を予算化するか検討している状況。 予算化されたものを3月議会ですべて1つ1つ審議していく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和4年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
6	R4. 11. 10 大島区	各地域で地域ビジョンが必要だと思う。誰が地域ビジョンを作るのかなど市民に伝わってこない。また、地域協議会が作成することとなった場合、委員の負担が大きい。	各区の地域計画が必要であるということは、総務委員会の提言書でも取り上げた。地域協議会や各団体が地域の要望を吸い上げ、総合事務所へ集約している。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
7	R4. 11. 10 大島区	地域協議会委員の報酬が少ないのではと感じる。これでは地域の要望が吸い上げられないのでは。	費用弁償については考えていかななくてはならない。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R5年2月時点)】 地域自治の在り方については、引き続き、ヒアリングや意見交換を通して、地域自治推進プロジェクトにおいて検討を進めていくこととしており、その中で、地域協議会の委員の役割、選任方法や報酬の有無などについて議論を深めていきます。（自治・地域振興課）
8	R4. 11. 10 大島区	重責を求めるのだから、報酬は出せるのではないか。	地方自治法に「報酬を支給しないこととすることができる」と規定されており、国が原則無報酬とするよう周知していることから、市では条例で報酬を支給しないこととしている。 活動して下さる皆さんが納得できる費用弁償を考えていかななくてはならない。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R5年2月時点)】 地域自治の在り方については、引き続き、ヒアリングや意見交換を通して、地域自治推進プロジェクトにおいて検討を進めていくこととしており、その中で、地域協議会の委員の役割、選任方法や報酬の有無などについて議論を深めていきます。（自治・地域振興課）
9	R4. 11. 10 大島区	R5年は、自主審議と地域活動支援事業というふうにより市長の任期4年間のうちに地域独自の予算の制度を組み立てれば良いのでは。総合事務所に提出しても採用されないこともある。	予算をどこにどれだけ割り振るかは内部で決められるが、簡単にはねられることがあってはならない。 地域協議会での自主審議は大事なのに、地域活動支援事業の審査に時間が取られてしまっている。 地域の課題を解決していくことが一番大事なのでは。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和4年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
10	R4. 11. 10 大島区	地域独自予算、今までは各地域に割り当てられていた。一括となると予算の振り分けはどうなるのか。公の施設、廃止等が検討されているが、地域のみなさんが活き活きと生活できるようにしてほしい。	行政はバランスを取りながら進めていく。予算の上限がないので、住民の皆さんが考え、解決してほしい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
11	R4. 11. 5牧 区	議会だよりに「円滑に消防団活動を行っており地域防災力が維持・確保できている」との記載があるが、実際は、団員に大きな負担をかけながら地域防災力を何とか維持できているという状態。今の団員は、病気にでもならない限り一生退団できない。行政の消防の力の充実など、大きな負担をかけずに地域防災力を維持できる道を探っていく必要がある。	行政の結論は地域防災力が維持できているとのことだったが、団員が減少し負担が増えているという話も聞く。行政は、訓練などの活動を縮小して負担がかからないようにするなど頑張っているが、人口減少の中で、この問題は本当に難しい。今回の条例改正で150人ほど減ったが、1年前も改正があってどんどん減少している。人口に対して面積も大きいし、旧市と13区との違いもあって、消防団員の募集は難しい。外国人などにも声をかけて増やす努力は行政もやっているが、高齢の方が退団できないのが現状。いただいた意見を行政にしっかりと伝えて、行政には突破口となるような具体案があれば出してほしいと思う。費用弁償なども変わって、何とか団員を募集するというで取り組んでいる。団員個人にお金振り込まれるようにも変わってきている。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
12	R4. 11. 8有 田区	所管事務調査の報告にあった、みんなで防犯安全安心まちづくり推進計画の改定について、計画を改定する理由は何か。毎年改定しているのか。	計画の期間が令和4年度で終了するため、今後の計画策定のための見直しを行うもの。毎年改定を行うわけではない。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和4年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
13	R4.11.8有田区	消防団の団員確保について、先々が心配である。地域防災力が確保できていると言っているが、現状はどうなのか。訓練の内容が昔と変わっていない。規律を保つために大切なことかもしれないが、現在の若者に受け入れられるのか。若い人が率先して入団するような体質にしていけるべきではないか。	若者の市外転出をはじめ人口減少社会が課題となっている中で、実団員数の減少は市内共通の課題だと認識している。国も対策を講じており、団員報酬の増額や、報酬の支払いを各団員への振込みに変更したほか、礼式訓練の内容も変更するなど団員の負担軽減を図っている。外国人も日本国籍があれば加入が認められている。今後も引き続き危機感を持って対応していく。行政へも伝えていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する ■ 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答（R5年2月時点）】 平成31年3月に消防団適正配置検討委員会からの提言を受け、消防団自らがまとめた「体制・資機材等に関する整備計画」に基づき「分団や消防部を統合する再編の取組」を進め、毎年体制の確認を行い、将来にわたり地域防災力を維持・確保できるように取り組んでいます。 また、当該委員会から訓練や行事の見直しなど、消防団の課題への対応に関する提言を受け、団員の負担軽減に向け、随時、事業の見直しを行っています。これまでも上越消防大会の廃止を提案し、協議により廃止したほか、市消防点検や消防出初式などの行事・訓練の見直しなどを実施し、団員の負担軽減を図っているところ。 団員の確保に向けては、今年度も「新しい社会人を励ます集い」の場や、市内高等学校などへのパンフレット配付等の啓発活動を行っているところですが、今後も若い方から率先して入団いただけるような体質となるよう、引き続き、必要な見直しを行ってまいります。（危機管理課）
14	R4.11.8有田区	知り合いの消防団の部長を務めていた人の話だが、消防団の活動に参加するための仕事の休暇を取りにくいと聞いた。行政から企業へ消防団の活動日程等を連絡して、団員が休暇を取りやすくなるよう連携してもらえないものか。また、実際に活動に参加しない幽霊団員にも手当が支払われるのはいかがなものか。	消防団協力事業所という制度がある。その方の会社が協力事業所かはわからないが、行政から活動の日程を伝えるなどして休暇を取りやすい環境を整えられるよう行政へ伝えていく。幽霊団員に出勤手当は支払われない。退職金については行政へ伝えていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する ■ 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答（R5年2月時点）】 毎年度、消防団事務局において、団員の勤務先に対して、消防団活動への協力を依頼する文書を各団員経由でお届けしています。また、各勤務先に消防団活動への理解を深めていただくためにも、今後、書類に消防団の年間事業計画を追加するように改めることとし、消防団活動をより理解いただけるよう努めていきます。 ・長期間にわたり活動が伴わない団員については、退団いただくことも含めて、分団や消防部内で協議するよう団長が各団員に指示しています。（危機管理課）
15	R4.11.8有田区	ふるさと納税の制度について、今年度から市は返礼品を充実させたようだが、個人的にこの制度に疑問を感じている。上越市民が他市へ納税すると、その分上越市の税収が減るわけなので、一体どのくらいの方が他市へ納税しているのか。市民に対して、他市ではなく上越市に納めてもらうためのPRが大事だと思うが、そのあたりは議会の中で審議されているのか。	トップセールスを掲げる現市長のもと、産業促進、販路促進、地域振興活性化に向けて、ふるさと納税の返礼品を令和4年度に594品目に拡大した。8月1日から新サイトをオープンし、令和3年度のふるさと納税額2,640万円の約2倍の5千万円を目指している。上越市民がどのくらい他市へ納税し、そのことにより上越市の税額がどのくらい減収になるかについては把握していない。	■ 1 委員会等で対応を協議（所管：総務常任委員会） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和4年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
16	R4. 11. 10 大島区	デマンドバスの実験中だが、大型店を回るなどうまく利用していけば良いのでは。	10月から安塚、牧で予約型コミュニティバスを実証実験している。 有効であることが分かれば少しずつ広げていきたいが、時間がかかる。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
17	R4. 11. 10 大島区	ほくほく線の利活用について提案したが、行政の内部が同じ方向を向いていないのではないかと。調整をしっかりとしてほしい。	ほくほく線だけで成り立つのか、解決するのは難しい。鉄道は市民にとっては大事なので、福祉路線だから維持していくという考えもできるのではないかと。今後どうやって維持していくのか見ていかなくては。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
18	R4. 11. 8有 田区	新型コロナワクチン接種について、接種が進んでも感染が収まらない。ワクチン接種により死亡した人や後遺症を発症している人がいる。集団訴訟も起きており、ワクチン後遺症及びコロナウイルスワクチン接種を考える超党派議員連盟が国会で発足し、梅谷守議員も入っている。 そんな状況でも接種を推進していることが理解できない。議員はワクチン接種による健康被害への危機感をどれだけ持っているのか。	国によってウイルス対策は異なるが、日本はワクチン接種に舵を切っている。ウイルスはどんどん変異していくので、変異に対応したワクチンを開発し接種を進めているところである。接種による健康被害に対しては国が責任を持って対処することになっているので、それ以上のことは申し上げることはできない。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和4年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
19	R4. 11. 9 吉川区	農福連携について、障害者の就農は季節によって作業量に偏りがあり大変だと思う。通年雇用を目指すには、ハウスを利用した農業経営が重要だ。道の駅の東側にハウスができる余地があるので、地元などの理解があれば可能ではないかと考える。他地域では動物を飼っている例もあり、動物との触れ合いを取り入れるなどしたら地域の名物になり活性化にもつながると考える。ハウス利用を促進してほしい。	貴重な提案に感謝する。即答はできないが、具体的な提案を持ち帰り、調査したい。  園芸振興やアグリビジネスがある。農政建設常任委員会としても厚生常任委員会と連携し、行政側へも話を伝えていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1 委員会等に対応を協議（所管：厚生常任委員会） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する</li> <li>■ 2 行政側に伝える</li> <li>□ 3 当日の回答どおり</li> <li>□ 4 全議員に周知・共有する</li> <li>□ 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）</li> <li>□ 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする</li> </ul>	厚生常任委員会では、行政に内容を伝えた中で、農福連携の現状をより理解しようと、令和5年2月7日（火）に各層との意見交換会として『上越ワーキングネットワークと上越市議会 厚生常任委員会との意見交換会』を実施し、団体の皆様から活動状況や課題について直接お話を聴きました。今後も、農福連携の推進のためにどのような手立てを推進すべきか研究し、促進のため手を尽くしたいと考えます。  【行政側からの回答(R5年2月時点)】 農業用ハウスを活用した園芸導入については通年雇用の創出につながり、農業経営の安定に寄与する取組であることから、市ではJA等の関係機関・団体と連携し、促進しているところです。年間を通じて作業量が確保できれば、農業全体はもとより農福連携においてもメリットのあるものと考えていますので、いただいたご意見を今後の参考とさせていただきます。（福祉課、農政課）
20	R4. 11. 10 大島区	障害者の就労支援、ワーキングネットワークに委託しているが、予算が少ないため、各事業所の負担で事務を行なっている。	後ほど詳しく聞かせて欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する</li> <li>□ 2 行政側に伝える</li> <li>■ 3 当日の回答どおり</li> <li>□ 4 全議員に周知・共有する</li> <li>□ 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）</li> <li>□ 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする</li> </ul>	/
21	R4. 11. 5 牧区	市道や県道の法面や排水路の維持管理を町内会で行っている。県は、予算の範囲内で対応してくれる場合もあるが、市は何もしない。市道が通っている地域は、生活道として利用するので、維持管理するのは当たり前前とは思いますが、だんだんと負担になってくる。第7次総合計画の中で、ある程度振り分けをして、市道で計画の無い砂利道を舗装してほしい。ベンチフリュームを入れて排水も考えてもらわないと、将来的に町内会で維持できない。話を積み上げていってほしい。  牧区では、運転免許証を返納しシニアカーを利用する高齢者が多いが、砂利道の市道を通るのは困難である。生活に直結している市道にもう少し支援してもらえような予算措置を計画の中でも挙げてほしい。	合併の際、当時の農道が市道になり、上越市の市道延長が伸びたことから、すべての市道の維持管理を市のみでやるのは、なかなか難しく、地域の皆さんに協力してもらっているのが現状。市が何もやっていないというわけではない。本来、市が責任をもってやるべきで、意見を担当課に伝えるが、皆さんからもできる範囲で協力してほしい。市には市道整備計画が設けられている。各町内会長が地域の要望を集約して、総合事務所を通じて市に伝える仕組みとなっているので、計画時期に町内会長と相談して要望してほしい。その後は、担当課で現地確認の上、生活道路として舗装が必要であれば計画に組み込むと思う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する</li> <li>□ 2 行政側に伝える</li> <li>■ 3 当日の回答どおり</li> <li>□ 4 全議員に周知・共有する</li> <li>□ 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）</li> <li>□ 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする</li> </ul>	/

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和4年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
22	R4. 11. 8有田区	除雪オペレーター確保のために、行政としてどのような支援を行っているのか。	資格取得の補助を行っているが、オペレーターの高齢化に伴い世代交代の時期が迫ってきているので、それに対応する行政の施策についても市議会から働きかけていきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答（R5年2月時点）】 除雪オペレーター確保のための取組として、令和3年度に国、県、市、除雪事業者による「新潟県除雪オペレーター担い手確保協議会上越地域協議会」を設立して担い手の確保に努めています。また、除雪車の作業従事に必要な資格取得に要する費用の一部を支援する除雪オペレーター人材確保促進事業補助金について、令和3年度に補助対象年齢を満40歳未満から満61歳未満へ緩和したほか、除雪作業の省力化・効率化と安全性が図られる除雪支援システム実証モデル事業を実施しており、担い手の確保・育成など、除雪体制の構築に努めています。（道路課雪対策室）
23	R4. 11. 10大島区	高齢者世帯の除雪補助について。融雪設備は燃料費が高額になる。補助等できないか。	市、県、国でどのような制度があるか調査、研究し、行政に働きかけていきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答（R5年2月時点）】 様々な克雪住宅がある中で、維持費に係る公平性の観点から、融雪屋根の維持費用を補助する考えはありません。 融雪ができず、資力や労力がなく支援が必要な世帯については、要援護世帯除雪費助成事業を活用していただいています。（建築住宅課）
24	R4. 11. 5牧区	長野県大町市の市営住宅の家賃は月額1万5,000円で、長野県に移住者が多いのはこれが理由だと思う。牧区にも住宅団地はあるが、合併時に家賃が旧市と一律になってしまい、なかなか入りにくいという声がある。移住定住を促進するために、どの区も移住者を呼べるほどの魅力や特色が無いのだから、住宅に目を向けて、市営住宅の家賃を安くしてはどうか。	上越市は、ワンストップ窓口を設置し、移住・定住コンシェルジュを配置して、積極的に取り組んでいる。令和4年度の政策分野別の主な事業の中の、第6次総合計画の柱の中で、上越市ふるさと暮らし支援センターという対策があり、賃貸住宅の家賃や住宅取得費を支援する制度となっていて、9月定例会に移住定住応援住宅取得補助金として補正予算案が提案された。金額は少なかったが、当初計画よりも移住者が増加しているので、行政も一生懸命やっている。牧区は、空気がおいしいし、牧区に住んだら喘息が治った人もいるので、これから移住の地として選んでもらえたらいいと思う。地域協議会等で活性化に向けてご意見を話し合っていていただければと思う。公営住宅や市営住宅の家賃の金額については、行政側に伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答（R5年2月時点）】 一般公営住宅は、公営住宅法に規定する「真に住宅に困窮し、かつ無収入・低収入の要援護者・住宅困窮者」を対象とした住宅であり、家賃は法の定めにより、毎年度、当該入居者の収入及び当該公営住宅の立地条件、規模、建設時からの経過年数等に応じて算出しています。 一方、特定公共賃貸住宅については、合併後これまでに二度の家賃改定を行い、現行では合併前よりも低い家賃額としています。 一般公営住宅、特定公共賃貸住宅ともに法律により入居要件が定められていますが、居住要件はなく、低家賃のため、市外の方からも毎年申込みをいただいているところです。（建築住宅課）



議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和4年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
25	R4.11.8有田区	空き家から侵入してくるツタの処理について市役所に相談し、処理費用の請求書を所有者へ送ってもらったが一向に支払われない。どうしたらよいか。 また、空き地に関しては、行政は入らないと言われた。法務局で調べても所有者がわからない。そういった空き地の草刈の相談はどうしたらよいか。	空き家の管理は各地で問題になっている。費用は所有者に負担していただくしかない。行政が処分するとなると私有財産の問題が発生し難しい。行政は連絡窓口として粘り強く所有者へ電話や手紙で連絡を取り続けるしかないのが現状である。 空き地の管理は、市に相談していただいて所有者等わかる範囲で対応いただけると思うが、なかなか難しいのが現状のようだ。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
26	R4.11.10大島区	住宅リフォーム補助金の抽選が2年連続で外れた。要望が多いのに予算が少ないのでは。また、予算を増やす等がなぜできないのか。広く浅くとか何か対応できないのか。	要望がたくさんあるのは承知している。議会では、働きかけを行い、打ち切りの予定が継続することになった。 敗者復活等の制度はないので、粘り強く申し込んでほしい。 市では沢山の施策を行っており、この制度にばかり予算をかけることはできない。市民からの要望が多ければ、市に働きかけていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
27	R4.11.9吉川区	今、吉川区の最大の関心事は、よしかわ杜氏の郷の株式譲渡の問題だ。開業以前からこの会社一筋に働いてきた社員もいる。従業員の雇用関係はどうなるのか危惧している。 また、譲渡の形について、株主も、従業員も、吉川区民がきちんと納得できるものになるよう行政としてしっかり進めていってほしい。	議会としても、本会議だけでなく所管事務調査でも取り上げて審議している。 従業員の雇用については、譲渡先の公募の条件に雇用継続、労働条件維持を設けている。 12月下旬の譲渡に向けて、現在は選定委員会において優先交渉先の選定にむけて審議しているようだ。 今後、皆さんの思いがどのように反映されているか、また、ご心配されている雇用関係についても、しっかり注視していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
28	R4.11.9吉川区	道の駅は吉川区の重要なインフォメーション施設である。地域の活性化、区の顔としても重要なので、ぜひ大事にしてほしい。	道の駅はたびたび訪問し、イベントの様子も見ており、地元のパワーは非常に大きいと感じている。地域が力を合わせて杜氏の郷とともに売り出す意欲を感じており、新たな提案が出てくることを期待している。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和4年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
29	R4. 11. 8有田区	農林水産業振興資金融資事業の新規利用件数が減少したことについて、制度が今の実情にあっているのか検討すべきだと思う。市は農業で何を振興していきたいのか見えてこない。施設園芸などの、所得が上がって将来性のある作物に取り組む技術のある農家を前提条件に貸し付けるなど、目指すものがはっきりしないと無駄だと思う。	ご意見のとおりと思う。借り手が少ない理由としては、貸付金を返済しなくてはいけないこともあると思う。この制度が有効に活用できているのか、見直しも含め検討する要素がたくさんあると考えている。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
30	R4. 11. 9吉川区	県営事業の赤川排水路工事が途中で止まっており、約800メートルが残っている。先が見えない。難しいのは承知しているが、市議会としても今後の動きを確認し、事業が進むよう話をしてほしい。	担当課に確認する。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R5年2月時点)】 赤川排水路工事（県営基幹水利ストックマネジメント事業）の採択区間については、計画的に予算が確保され、事業の進捗が図られています。 なお、事業採択されていない区間の計画については未定です。（農林水産整備課）
31	R4. 11. 10大島区	森林環境譲与税は、山間地から行っていった方が良いのではないかと。	税の目的にそった活用ができるように働きかける。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R5年2月時点)】 森林環境譲与税については、森林整備に関する事業のほか、林道の維持管理や林業事業者への補助事業等の財源として活用しています。 なお、同税を活用した森林経営管理制度については、上越市森林整備計画に基づき進めており、令和4年度からは大島区棚岡地区のほか、中郷区や名立区といった山間地においても取組を開始しています。（農林水産整備課）
32	R4. 11. 8有田区	9月定例会でも宮崎議員が一般質問で「公立であっても特色ある学校が選ばれ、移住定住にもつながる可能性があると考えているがどうか」と質問し、教育長の答弁では「一定の水準を確保して学校間格差をなくす」とのことであった。水準以上の学校はどうか。議員はそのあたりについて疑問に思わないのか。	水準以上の学校を抑えるということはないと理解している。教職員はしっかりと子どもと向き合っており、お互いに切磋琢磨して向上を目指している。特色ある学校としては、総合的な学習の時間で地域に根差した学習を行うことで、地域への誇りと愛着をはぐくむことにつながることを期待されている。 公立学校として一定の水準をクリアするのは当たり前のことであり、その先どれだけ高めていけるか、議員としても教育委員会の動きを注視していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和4年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
33	R4.11.9 吉川区	移住定住、奨学金について、市外の大学に進学した学生が上越に帰りやすいように手当てなど検討してほしいがどうか。	進学で転出した若者の多くは、大学等の高等教育を受けているので、Uターンを進めるには、それを生かして働く場所を作ることが必要である。それとこの街に暮らす誇りを持てるよう、上越ならではの価値を地道に伝えることも重要になってくる。いずれにしても時間がかかることと考える。  謙信公アカデミー条例など奨学金制度を多くが利用している。地域貢献を目的にしているが、どう貢献しているか、条件整備を含めて検討していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1 委員会等で対応を協議（所管：文教経済常任委員会） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する</li> <li><input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える</li> <li><input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり</li> <li><input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する</li> <li><input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）</li> <li><input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする</li> </ul>	移住定住の制度は外部発信をこれまでも行ってきたが、地元上越の家族に制度の存在や取組への理解が十分に浸透していないことから、制度周知の更なる充実やターゲットの見直し等を行政に求める。 また、奨学金に関し、進学の後押しと卒業後の市内定住を促す手法として、令和6年度より奨学金の返還を支援する制度が開始される（令和5年3月定例会で提案）。議会としても本制度の周知を行政と共に推し進める。 また、謙信公アカデミーにおける奨学金制度においても同制度の活用を可能とした中で、奨学金受給者のその後の活躍状況などの情報収集や、講演などのパフォーマンス等、奨学金の成果を地元に戻元できる制度的な条件整備を行政に求める。
34	R4.11.9 吉川区	教員の精神的なストレスによる休職が多いようだ。保護者への対応が負担となっているとの話も聞き、そういったことが教職員のストレスの原因ではないかと思うので、精査が必要ではないか。	この問題は全国的な問題であり、社会問題でもある。市立小中学校では教職員を対象にストレスチェックを実施しているが、実施の必要があること自体が問題だと認識している。62人が休職中で、原因は保護者への対応も含め様々のようなのだが、教育委員会として解決すべき問題であり対応を求めていく。今年度、新しい教育ビジョンが提案されるので、教職員のストレスのない環境整備が進むことを期待している。	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する</li> <li>■ 2 行政側に伝える</li> <li><input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり</li> <li><input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する</li> <li><input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）</li> <li><input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする</li> </ul>	【行政側からの回答(R5年2月時点)】 市では、職員自身の気付きを促すこと、また、原因となる職場環境の改善を図るため、全ての市立小・中学校教職員に対し、ストレスチェックを行っています。令和3年度は62名が高ストレスと判定され、本人の希望に沿って医師による面談を実施しました。2月1日現在、県費負担教職員の精神疾患等による休職者は12名です。 高ストレスの原因は、個々の状況により様々であるため、対応は異なりますが、市では現在、学校の働き方改革の推進を始め、高ストレスのない環境整備を進めており、今後も継続して取り組んでいきます。（学校教育課）
35	R4.11.10 大島区	大浦安で中学校の統合があるが、浦川原には2校廃校になった校舎がある。月影の郷のようにもう少し活用してはどうか。	統合は、子どもたちの学びの保障ができるよう、保護者や地域の合意形成を図りながら進めていく。このまま統合が進んでいくと廃校が増えていくが、有効活用できるように調査研究していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する</li> <li>■ 2 行政側に伝える</li> <li><input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり</li> <li><input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する</li> <li><input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）</li> <li><input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする</li> </ul>	【行政側からの回答(R5年2月時点)】 廃校施設に限らず供用を廃止した公共施設については、まず、行政として他の用途で利活用できないか検討し、利活用の見込みがない場合は、その後、地域のニーズに応える形で必要なスペースをお貸しするなどしています。廃校施設は、校舎・体育館・グラウンドなどを一体的に活用することは難しいのが現状です。 このため、次の手法として、民間による利活用の可能性を探ることとしています。 廃校施設を含めた遊休財産は、建物の構造や規模、老朽度の度合い、立地条件等から課題も多くあると認識しており、国の支援制度や全国の事例を参考に課題の解決に向けた取組を進めるとともに、地域の方々のご意向もお聞きしながら、それぞれの施設の利活用の方策を探っていききたいと考えています。（用地管財課）

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和4年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
36	R4. 11. 9 吉川区	議員と地域協議会との交流が不十分ではないか。ぜひ、地域協議会を訪問し、地域協議会委員と意見交換をしてほしい。吉川では、毎回参加した人との意見交換をしている。ぜひおいでいただきたい。	他の地域自治区からも同様のご意見をいただいている。実態を知らないのではないかという指摘もあった。今後、議会と地域協議会との交流を深め、意思の疎通を図っていきたい。上越ならではの体制を共に作りたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
37	R4. 11. 10 大島区	4月3日に地域協議会と議員の意見交換会が行われた。その時、集約した意見の取扱いはどうなっているのか。	いただいた意見に個別の回答はしていないが、意見はすべてチェックして提言にどう折り込むか総務委員会で議論した。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
38	R4. 11. 5 牧区	議会日より「かけはし」について、レイアウト的に文字が減って読みやすくなった。また、質疑の前に、そもそもどのような事業が実施されていて、それに対する質疑はこんなことがあったという掲載の仕方になっていて、基礎知識が無い事業に対する質疑でも、その説明が詳しく掲載されているので、それを読んだだけでも、議論の内容がわかるようになった。これからも読みやすい議会だよりを発行してほしい。	議会だよりを褒めていただきありがたい。これからも頑張っていきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
39	R4. 11. 9 吉川区	（報告なので回答は不要） 長峰城址保存会は発足から10年になる。これまでに9回地域活動支援事業の採択を受け、総額770万円を支援いただいた。今年は8月7日に見学会を実施し約60人が参加された。このほか、年間で4団体65人の見学者があり、頸城区の雁金城跡保存会の皆さんや梅谷衆議員議員からも来ていただいた。 毎年、雪割草を植えており、今年の作業の際に東京からの来訪者が見学していかれ、交流が生まれた。 来年度から地域活動支援事業は形態が変わるわけだが、仲間と相談しながら引き続き対応していきたい。	(回答不要)	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表（令和4年11月開催分）

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
40	R4.11.8有田区	（提案なので回答は不要） 地域の宝をもっと活用してはどうか。上越市はアピールが苦手と感じる。先日、八千浦地区出身の女子テニス選手が全国大会で優勝したが、駅などに横断幕が出ていなかった。もっとPRしてはどうか。 また、海を観光資源として活用してはどうか。佐渡汽船で景色を眺めるツアー、例えばサンセットクルージングや、海から眺める火力発電所の夜景などで、長野など他県から人を呼び込めるのではないかと。ふるさと納税の返礼品として佐渡汽船の乗船券を取り扱ってはどうか。	貴重なご意見を賜りありがたい。海あり山あり田園ありの上越市の資源を生かしていただけるよう議員一同、しっかりアンテナを張っていききたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
41	R4.11.8有田区	（アンケート欄に記入・連絡先記載あり） ・新型コロナワクチンの健康被害が全国的に目立ってきているが、議員としてどこまで認識把握しているか。 ・超党派議員連盟も結成されて我が6区の梅谷守氏は参加している。 ・遺族会による集団訴訟も起きている。 ・厚労省も過去に数多の薬害訴訟を起こされており、国のやる事が絶対正しいとの保証は全くない。 ・市民国民の生命、健康ほど大切なものはない。 ・議員としてもっと情報収集して行動してほしい。	（広報広聴委員会副委員長が電話にて対応） 市の現状と国の対応策について説明し、ご意見を議員に伝える旨を回答。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
42	R4.11.8有田区	（アンケート欄に記入・連絡先記載あり） 文教経済常任委員会 ・年間どれくらい学校現場の視察をしているのか。 ・校長会と懇談の機会を持っているのか。 ・教職員ストレスチェックの教育委員会の答弁として、「各学校で…」 「校長会を通じて…」と学校現場に丸投げしているよううかがえる。ストレスのない環境づくりに対して、教育委員会として何ができるのか行政として何ができるのかを明らかにする必要があるのではないかと。	（広報広聴委員会副委員長が電話にて対応） 市教育委員会の施策について説明した。市民代表である議員が、学校現場や校長会に行き、学校現場の厳しい現状を肌で感じてほしいとのご意見をいただいたので、議員へ伝える旨を回答。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
43	R4.11.8有田区	（アンケート欄に記入・連絡先記載あり） 総務常任委員会 ・「地域独自の予算」の現状（旧上越市）では、地域を元気・活性化にほど遠い内容になっているのではないかと。旧上越市と13区の違いを進行の江口議員も指摘されたが、今後も続けて議論してほしい。	（広報広聴委員会副委員長が電話にて対応） 今後も調査研究して欲しいとのご意見をいただき、議論を続けていく旨を回答。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	